

校長室より

## 「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校  
校長 鶴飼敦之

### 新年あけまして おめでとうございます

令和6(2024)年、生徒の皆さん、ご家族、そして関係者の皆様におかれましては、健やかな年を迎えられましたでしょうか。

新年明けまして、おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

今年は甲辰の年。甲は木を表し成長と活力を、辰は龍を表し力強さと勇気を象徴しています。この組み合わせは、自らの力を信じ、前向きな行動を起こすことで、成果を得ると言われています。チャレンジの気持ちが大切です。新たな目標を設定し、STEP BY STEP でその達成を目指して欲しいと願います。

年末年始は例年のように大みそかに「紅白歌合戦」をTVで視聴し、「ゆく年くる年」を見ながら新年を迎えました。元日は、初日の出を多摩湖の堰堤から拝み、朝日に富士山が薄っすらと赤く染まるのを見ました。2日は、朝から定番の箱根駅伝の応援に茶の間から参加。毎年ドラマを演じてくれる学生たちを見て勇気と元気をもらいました。午後からは辰年にちなみ、境内の東に青龍、西に白龍、南に赤龍、北に黒龍、そして本殿に金龍の五龍神が祀られている田無神社に出かけました。五龍神は、学業成就や金運などの運気を向上させ、厄難を祓ってくれるというので大勢の参拝客が押し寄せ、お参りするまで1時間30分ほど並びました。



### 3 学期始業式

新年早々、震災と事故のニュースが飛び込んできました。

犠牲になられた方のご冥福を祈り、今なお、安否不明の皆様の無事を願わずにはいられません。そして、依然として揺れが続き、寒さに耐えて避難生活を余儀なくされている方々へ、お見舞いを申し上げるとともに一日も早い復旧をお祈りしたいと思います。

地震大国の我が国では、時間・場所を選ばずに我々の生活を激変させる地震が発生します。日頃からの防災意識がいかに重要かを改めて感じさせてくれます。

今年の干支の辰ですが、12種の干支の中で唯一空想上の動物だそうです。龍のイメージから「タツノオトシゴ」がTVで取り上げられていました。その中で、タツノオトシゴは、オスが育児をすると紹介されていました。メスはオスの「育児嚢(いくじのう)」と呼ばれる袋に卵を産みつけると、驚くことに、その後、卵の世話は一切せず、卵が外界で生きていけるようになるまでの子育ては、オスに委ねられるそうです。



昨年2学期の終業式では「二松生らしさ」という話をしました。元日の新聞に「男らしさ」についてのコラムが掲載されていました。今回は、「男らしさ・女らしさ」について考えてみましょう。

個性や多様性が尊重される今、「男らしさ」はどうか受け止められているのでしょうか。男性学という学問があるそうですが、その第一人者である大学教授によると「男らしさ」とは歴史や社会によって作り出され、男性が軍隊に徴兵されるようになると「弱みを見せない」、「感情を表に出さない」などの価値観が共有されるようになったそうです。内閣府の調査によると「男は人前で泣くべきではない」と考える男性は3割、女性は2割弱との結果が示されています。男性の方がより強く役割意識を持っている傾向にあるようです。「こうあらねば、という鎧によって無意識のうちに苦しんでいる男性もみられ、そこに気づけばもっと生きやすい社会になるのかも」と教授は話しています。

しかし、「男らしさ」の価値観が薄らぎつつある中、様々な変化も見られます。例えば、職業選択において、職業の中には男性の仕事、女性の仕事といった垣根が低くなりました。看護婦が看護師に保母が保育士と名称が変わったのは知っていると思います。歯科衛生士は法律にも以前は「女子」と定義され、女性の仕事として定着していたのが、男性にも門戸が開かれ、性別を問わず目指しやすくなった職業もあります。また、働き方にも変化が見られます。「男は仕事、女は家事」といった性別役割分業に影響され、これまで育児のために働き方を変えるのは女性側でしたが、若い世代を中心に男性の意識が変化しています。家事や育児時間が取れる職に転職したり、育児休業を取得したりするなど、フルタイムで働く女性が増えた今、家族の状況に合わせて柔軟な働き方や生き方を見直す動きが男性に広まっているようです。女性に任せる時代から一緒に考える時代に移り、男も女性のことを理解する必要が求められているといえるでしょう。

「男らしさ」や「女らしさ」は個人のアイデンティティを形成する一要素に過ぎません。私たちは異なる性別や性自認を持つ人々を尊重し、多様性を受け入れることが大切です。性別に関する偏見や差別を排除し、互いに理解し合い、共に学び合う環境を築いていくことが、真の平等な社会の礎です。「男らしさ」・「女らしさ」というそれぞれの見方をアップデートすることも必要ですし、皆さんには「自分らしさ」を大切にしてください。

## 生徒会 新役員「認証式」

昨年11月に実施された、生徒会本部役員選挙及び信任投票で当選した新役員の皆さんの認証式を校長室で実施し、一人一人に「認証状」を手渡しました。任期は令和6年の1月1日からの1年間です。

新会長の坂口君からは「二松生のために様々なことに取組み頑張ります」との決意が改めて述べられました。

旧役員の前年3年生、岡田さん（会長）、橋本さん（副会長）、藤村くん（会計）の3人が立会人として認証式に参加してくれました。その後、全員で集合写真をパチリ📷。

会 長 坂口くん（2年）

副会長 折原くん（2年）、井上さん（1年）

書 記 篠崎くん（2年）、早川さん（1年）、会 計 大内くん（1年）、馬場さん（1年）

頑張って二松学舎の生徒会活動を盛り上げてください。



## 熱戦 百人一首大会



第21回 百人一首大会・本大会が始業式後に地下体育室で開催されました。各クラス予選を勝ち抜いた3名が源平スタイルで競う2回戦の対戦に挑みました。

最近では冬休みに家族でかるたを楽しむ習慣が薄れているのが残念ですが、開会挨拶で小林さん（2年）が話されたように札を取るだけでなく、歌人や歌の情景や心情などにも思いを馳せるとかるたの奥深さを感じることができるでしょう。

今回は36名中1/3が男子で女子の素早い動きに力強く反応して対抗しましたが、入賞は果たせなかったようです。結果は、1位：岡本さん（1E）、2位：高坂さん（1F）、3位：藤田さん（1A）と1年生が頑張りました。

父母の会からはドリンクの差し入れをいただきました。ありがとうございました。